

落花生「千葉 P114 号」の育成

～^{さや}莢がきれいで、^{いりざや}甘みが強く、煎り莢向き～

「千葉 P114 号」は、甘みが強い、煎り莢用の落花生の新品種です。平成 10 年に「郷の香」を母親、「関東 96 号」(「土の香」×「千葉半立」)を父親として交配し、選抜を進め、平成 27 年 2 月に品種登録出願を行いました。

「千葉 P114 号」はやや^{わせ}早生で、種子の出芽が良く、莢の外観がきれいで、収穫量は多く安定しています。

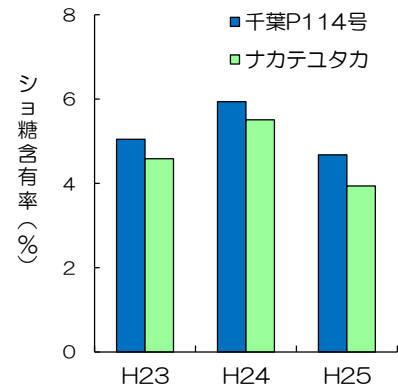
1 品種の特徴

- (1) 「千葉 P114 号」は煎り莢用の品種で、これまでの品種「ナカテユタカ」と比べて、^{とうがんゆうりつ}シヨ糖含有率が高いため甘みが強く、莢がきれいな特徴があります。



千葉 P114 号

ナカテユタカ



- (2) やや早生の品種で、収量は「ナカテユタカ」と同じく多く安定しています。発芽する時の障害である、^{ようがっぺんしょう}幼芽褐変症の発生は少なく、種子の出芽が優れています。



「千葉 P114 号」の株の様子

2 普及の状況

平成 29 年から県内の落花生生産者に種子の配付を開始し、平成 30 年の秋から一般販売を開始する予定です。

3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

落花生研究室 043-444-0676

最重点プロジェクト研究室 043-291-0151(代)

4 掲載年月

平成 30 年 1 月